

## 令和7年度 路面性状調査業務委託

### 質問回答書

No.	ご 質 問	回 答
1	測定対象である「平たん性」について、性能カタログに精度確認項目の記載がない場合、「IRI」を含めた3項目で○の数をカウントするとの認識でよいか。	「IRI」を含めた3項目の○の数で採点を行います。
2	性能カタログの技術において「IRI」が測定可能な場合、それは取得したIRIから相関式で「平たん性」を算出するものでしょうか。その場合、「路面性状調査_仕様書.pdf」第39条(報告書作成)の【調査結果のまとめ、分析・考察】において、測定項目の違いによる誤差を考慮する必要があるか。	取得したIRIから、相関式で平坦性を算出し、MCI値を算出して下さい。
3	補助幹線道路のMCIを算出する際、ひび割れ率のみで算出可能な次の式を用いるという認識でよい か。 $MCI_1 = 10 - 2.23 C_{0.3}$ (※Cはひび割れ率)	その式を用いて計算して下さい。
4	ア提案書類に「②入札(見積)書(別紙)」と記載があり、イ提案内容にも「⑨見積額」と記載あがるが、工程表は提案書(10~15ページ)の中に含むか。それとも別途提出か。	ア 提案書類に記載の項目については、基本的に企画提案書と別途提出(提案書の枚数に含めない)をお願いします。 また、イ 提案内容に記載の項目については、審査評価表に記載の審査項目となっておりますので、企画提案書内に記載をお願いします。 ④工程表:工程について記載をお願いします。(調査～解析にかかる日数、また工期短縮について) ⑨見積額:見積額について記載をお願いします。
5	対面で実施の場合、参加人数に制限はありますでしょうか。	会議室の都合上、6名までお願いします。